

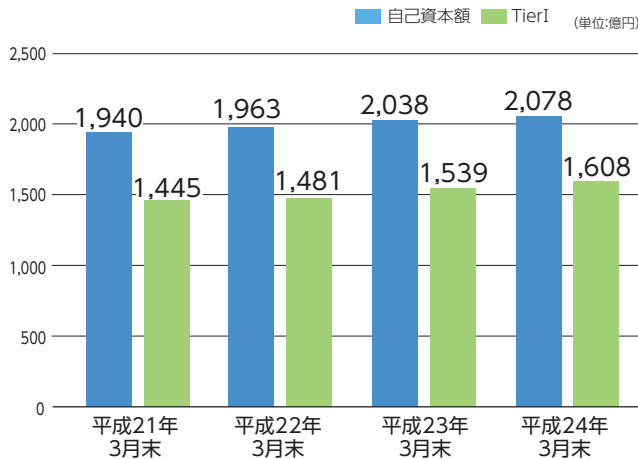
自己資本の状況

自己資本の状況

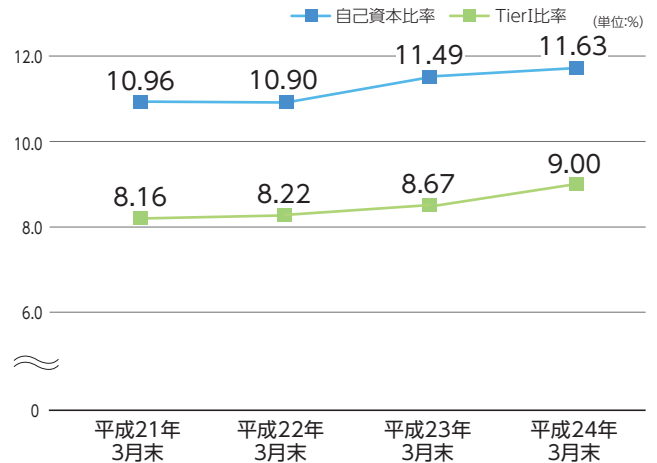
平成24年3月末においては、中小企業向け貸出や住宅ローン等の残高が順調に増加したことから、リスクアセットが前期末比119億円増加しました。

また、当期純利益の計上等によって自己資本は前期末比40億円増加したことから、紀陽ホールディングス連結での自己資本比率(第二基準)は11.63%(前期末比+0.14%)となりました。

■ 連結自己資本額の状況



■ 連結自己資本比率の状況



	平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成23年3月末対比
自己資本額	1,940億円	1,963億円	2,038億円	2,078億円	40億円
うちTier I	1,445億円	1,481億円	1,539億円	1,608億円	69億円
うちTier II	498億円	482億円	498億円	469億円	▲ 29億円
リスクアセット	17,706億円	18,008億円	17,742億円	17,861億円	119億円
連結自己資本比率	10.96%	10.90%	11.49%	11.63%	0.14%
連結Tier I比率	8.16%	8.22%	8.67%	9.00%	0.33%
繰延税金資産額	429億円	333億円	287億円	170億円	▲ 117億円
Tier I対比	29.6%	22.5%	18.6%	10.5%	▲ 8.1%

配当方針

利益配分に関しましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質の強化のために、適切な内部留保の充実を図りつつ、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

当期の配当につきましては、普通株式1株につき年間3円とし、その他優先株式については所定の優先配当金をお支払いさせていただきます。

平成25年3月期につきましても、新たにスタートした「第3次中期経営計画」を着実に押し進めることで、普通株式年間3円の配当を安定的に実施するとともに、公的資金の完済と安定的な内部留保の蓄積を図るべく収益力の強化に努めてまいります。

格付の取得

「格付」とは、第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。

紀陽ホールディングスおよび紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)から、格付の上位に位置する「A-」を取得しています。

また、紀陽銀行では株式会社格付投資情報センター(R&I)より、「BBB+」の格付を取得しています。

